

以下の記載は、表題の診療ガイドラインから漢方製剤に関する記述を抽出したものです。診療において漢方製剤を使用される場合には、必ず、ガイドライン全体をお読みにになり、その位置づけを正しく理解された上で行ってください。

ガイドラインのバージョンは最新のもののみを掲載しています。改定がなされていないガイドラインは、そのまま掲載しています。このガイドラインとその中の漢方の記載を、診療の参考にすべきかどうかの判断は、使用者の責任で行ってください。

男性不妊症診療ガイドライン 2024 年版

日本泌尿器科学会/一般社団法人日本泌尿器科学会「男性不妊症診療ガイドライン」作成委員（委員長 辻村晃 順天堂大学医学部附属浦安病院泌尿器科）
株式会社メディカルレビュー社 2024 年 2 月 15 日

Minds 掲載 無

Grading Scale of Strength of Evidence

I: よく検討された RCT 成績

II: 症例対照研究成績あるいは繰り返して観察されている事象

III: I、II 以外。多くは経験的意見や臨床的印象、または権威者の意見

Grading Scale of Strength of Recommendation

A: (実施することをぜひ) 勧める

B: (実施することを) 勧める

C: (実施することは) 勧められない

■1 漢方製剤

疾患:

男性不妊症

引用など:

湯村寧(研究代表者). 我が国における男性不妊に対する検査, 治療に関する調査研究平成 27 年度総括・分担研究報告書. 2016.(Ⅱ)

有効性に関する記載ないしその要約:

『BQ3 内科的治療総論』『BQ 設定の背景』に以下の記載がある。

『厚生労働省の平成 27 年度子ども・子育て支援推進調査研究事業「我が国における男性不妊に対する検査・治療に関する調査研究」によると, 非内分泌療法として漢方製剤は副作用も少なく投与しやすいという利点があり, 処方される機会が多い』

■2 補中益気湯，八味地黄丸，牛車腎気丸，紫胡加竜骨牡蛎湯

疾患：

男性不妊症

有効性に関する記載ないしその要約：

『BQ3 内科的治療総論』『解説』に以下の記載がある。

『男性不妊症は漢方医学では「虚証」の状態と考えられており，補中益気湯，八味地黄丸，牛車腎気丸などがしばしば処方される。一方で，必ずしも「虚証」にあてはまらない男性不妊症患者も少なからず存在し，これらの薬剤のほかに「実証」に有効とされる紫胡加竜骨牡蛎湯が処方されることもある。』

■3 補中益気湯，八味地黄丸，牛車腎気丸，紫胡加竜骨牡蛎湯

疾患：

男性不妊症

引用など：

布施英樹，岩崎雅志．現在頻用されている漢方治療の有効性． *Pharma Medica* 2000; 18: 93-8. (Ⅲ)

有効性に関する記載ないしその要約：

『BQ3 内科的治療総論』『解説』に以下の記載がある。

『各薬剤の精子濃度への有効率は，補中益気湯で 32～70%，八味地黄丸で 21～50%，牛車腎気丸で 0～67%，紫胡加竜骨牡蛎湯で 46～58%である。精子運動率に対する有効率は，補中益気湯で 22～63%，八味地黄丸で 0～50%，牛車腎気丸で 0～14%，紫胡加竜骨牡蛎湯で 65～67%である』